

平成 30 年度（2018 年度）「中学校給食に関するアンケート」調査結果（概要）

【実施目的】

平成 26 年度（2014 年度）4 月から選択制のデリバリー方式で、段階的に中学校給食を導入し、平成 28 年度（2016 年度）9 月から全校実施している。今後の参考とするため、生徒・保護者・教職員にアンケート調査を行った。

【回収率】

配布枚数と回収数

	生徒	保護者	教職員
対象人数	9,441	9,440	667
回収枚数	8,007	6,341	413
回収率	84.8%	67.1%	61.9%

【概 要】

○利用状況

生徒は全体の約 15%、1,040 人が利用しており、そのうち週 1 日以上の利用は 705 人で全体の約 1 割となっており、全市の喫食率に近い値となっている。

○利用している理由

給食を利用している多くの生徒は「家の人に利用するように言われたから」または「お弁当作りの負担を軽くできるから」のいずれかを理由に挙げている。あわせて保護者の約 9 割が「お弁当作りの負担を軽くできるから」の意見を持っていることから、給食利用の主要な理由は「お弁当作りの負担を軽くできるから」であると言える。

○利用しない理由

給食を利用していない生徒の 9 割は「自宅でお弁当を作ってくれるから」を選択し、保護者の約 6 割は「子どもに給食を利用したくないと言われたから」を選択していることから子どもの意見で選択している家庭が多いことが伺える。

○中学校給食を見直すとすればどの方法が良いか

時 期	生徒		保護者		教職員	
	H23	H30	H23	H30	H23	H30
全員給食が良い	9%	5%	37%	59%	8%	16%
選択制が良い	60%	72%	59%	25%	48%	62%
どちらでも良い	—	23%	—	16%	—	22%
弁当が良い	31%	—	4%	—	44%	—

前回と比較すると、保護者の意見が大きく変化し、全員喫食を求める声が約 6 割になった。お弁当作りの負担軽減を求める声が大きくなっていることが伺える。

以上